



きよたのまちづくり団体

清田区では「白旗山」「あしりべつ川」「平岡梅林」の3つを区のシンボルとしています。このコーナーでは、それぞれのシンボルを拠点にまちづくりに取り組む団体の活動を紹介していきます。



「あしりべつ川の会」ってどんな団体？

清田区の発展を支えてきた「あしりべつ川」の自然環境を守り、心のやすらぎの場として次世代に継承していくことを目的とするNPO（特定非営利活動）法人です。地域の住民や企業・団体などで構成され、会員数は約150人。平成2年から活動を続けています。

今年は57匹のこいのぼりが、川の上空を気持ち良さそうに泳いだよ♪



どんなことをしているの？

毎年4月中旬から5月上旬ごろまで、旧国道36号の厚別橋付近にたくさんのこいのぼりを掲げています。あしりべつ川上空を泳ぐ姿は地域住民の目を楽しませ、今や清田区の春の風物詩となっています。また、6月と9月には河川敷の草刈りやごみ拾い、花植えを行うほか、「あしりべつ川体験塾」への協力、河川敷の両岸にあるパークゴルフ場の管理などを行っています。



ごみ拾いや花植えなどで河川敷がピカピカに！皆さんの参加也大歓迎！！



あしりべつ川の会
理事長 嶋川 徳志さん
(連絡先)
あしりべつ川の会事務局
☎ 881-0821

定期的に河川敷をきれいにすることで、捨てられるゴミが随分減りましたよ。また、こいのぼりは大変好評で、来年は70匹以上に増やそうと考えていますのでお楽しみに！
そのほか、住まいや暮らしの悩み相談もしていますので、お気軽に事務局までご連絡ください。会員も随時募集中です。

小学生が川遊びをしながら自然について学べる体験塾。今年は8月20日(土)に実施！



あしりべつ川ってなあに？

「あしりべつ川」は、清田区の中心部を南北に縦断する一級河川で、長さは41.7km。豊平川の最大支流で、空沼岳山頂付近を源流としています。正式な河川名は「厚別（あつべつ）川」ですが、かつてこの地域が「アシリベツ」と呼ばれ、木材の運搬や稲作など、人々の生活に欠かすことのできない存在であったことから、「あしりべつ川」の名で地域住民に親しまれています。河川敷には樹木や花々が植えられるなど緑地として整備され、散策やパークゴルフを楽しめる、地域住民の憩いの場となっています。

この時期はラベンダーがきれいに咲いているよ！（清田橋右岸付近）



広告